

## 第 8 2 回 病態生化学セミナー

日時：平成 26 年 5 月 29 日（木曜日）午後 6 時 00 分～

場所：医学部 図書館 3 階 視聴覚室

演題：シグレックの機能解析と臨床応用の可能性

Functional analysis and possible clinical application of Siglecs

演者：名古屋大学 大学院医学系研究科 生物化学講座 教授

古川 鋼一 先生

複合糖質はおもに細胞膜表面に発現して、細胞—細胞間、細胞-細胞外基質あるいは細胞外因子との相互作用に関わって、様々なシグナルの生成に重要な機能を果たしている。一方、シアル酸を認識する膜タンパク質であるシグレックは 10 数種のファミリーメンバーから成り、その多くは免疫細胞に発現する。シグレックの多くが細胞質ドメインに ITIM (immunoreceptor tyrosine-based inhibition motif) を有し、シグレック発現細胞に抑制性のシグナルを伝達することが分かっている。近年、シグレックに認識される糖鎖を発現する細胞の側においても、シグレック—リガンド糖鎖間の相互作用に基づくシグナルが伝達され、有意な細胞変化を招くとの報告が見られる。今回のセミナーでは、ヒトの癌細胞にシグレック 9 が結合して誘導されたタンパク質分解の機序と意義を中心に、シグレックの機能と臨床応用の可能性につき共に考えたい。【古川 鋼一】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(3)、

博士課程選択科目：細胞生物学I(6)、老化II(20)、発生生物学I(15)、発癌I(22)、腫瘍生物学I(24)、II(25)、III(26)、臨床腫瘍学I(28)、II(29)、III(30)、IV(31)、V(32)、VI(33)、地域がん治療学(34)、口腔腫瘍学(35)、薬物動態学I(70)、腫瘍免疫学I(79)、理工医学のための生物材料学(101)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御、理工医学のための生物材料学の基礎を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。